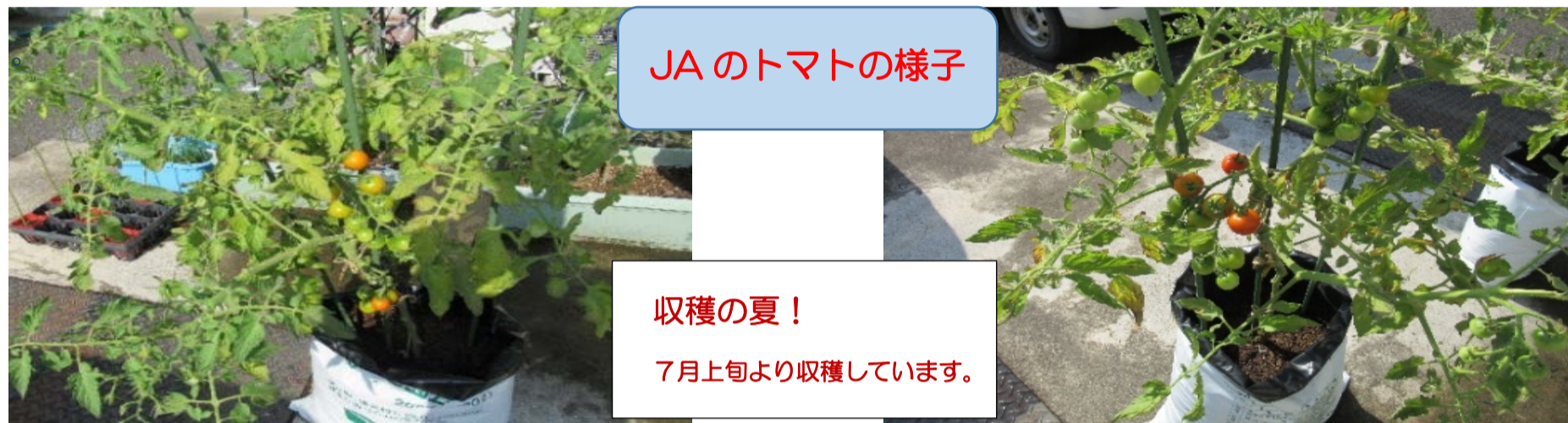




夏野菜の定番 ミニトマトを育てよう！

JA で栽培しているトマトが収穫を迎えています！皆様の培土袋トマトの様子はどうですか？

トマトが赤くなり収穫するには40日程度とされていますが、それには日照時間や温度が深く関係があり、積算温度 800℃~1000℃で収穫期を迎えます。例えば、一日の気温が20℃とした場合は40日程度で収穫適期です。しかし近頃は猛暑日が続いていますので、陽射しが強すぎたり、急激な水分変化や栄養不足によりトマトの実が割れたりする事もあります。タイミングを逃すことなく収穫してください。



新しい問題発生？！

• JAの培土袋トマト。赤色○の中、トマトの葉に元気がなく枯れている？

コンクリートに直置きで袋内が高温になった？ 培土が詰まって栄養や水分が吸収できない？ からかもしれません。

- ①置き場所を移し、暑さ除け ②培土と袋の間や土をほぐし、水はけ穴を大幅に追加 ③水やりを多めにし、追肥をした
- 数日後、改善し、みどり色の葉になった（でてきた？）

- 枯れた葉はもとに戻りません・・・葉かきしましょう。
- トマトの実が固い場合、水分が足りないのかも知れません。



(反省) 夏の猛暑・・・培土袋は温度を吸収しやすく、培土の温度も高温になります。培土袋でのトマト栽培は手軽ですが、高温対策が欠かせません・・・。

サツマイモ通信 ~あのサツマイモは今~

7/1



7/7



8/3



畝の手入れとして7/7に畝の間を耕耘（こううん）しました。除草が目的です。サツマイモは寒くなる時期まで成長します。除草するときは「つる返し」をしましょう。伸びた蔓や繁った葉を上げるにより、蔓や葉の成長ではなく芋の成長に繋がります！

耕耘後一か月後の様子。根は生えていません →